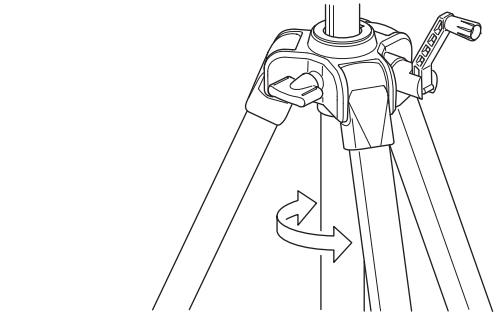


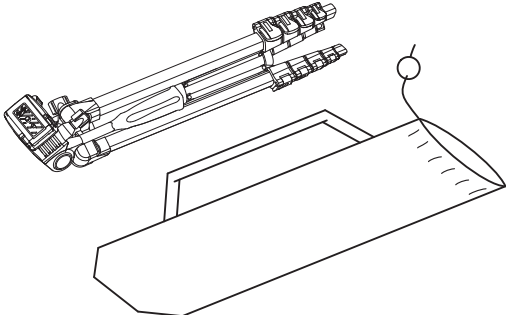
エレベーターのかたさ調整



エレベーターの動きが硬すぎたり、ゆるすぎたりしたときは、カバーパイプをまわしてかたさを調整してください。

メ モ

持ち運びには



三脚ケースをご使用の時は、雲台を下にして担ぐとバランスが良くなります。

SLIK® GX-S 7500

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことにありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。

⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

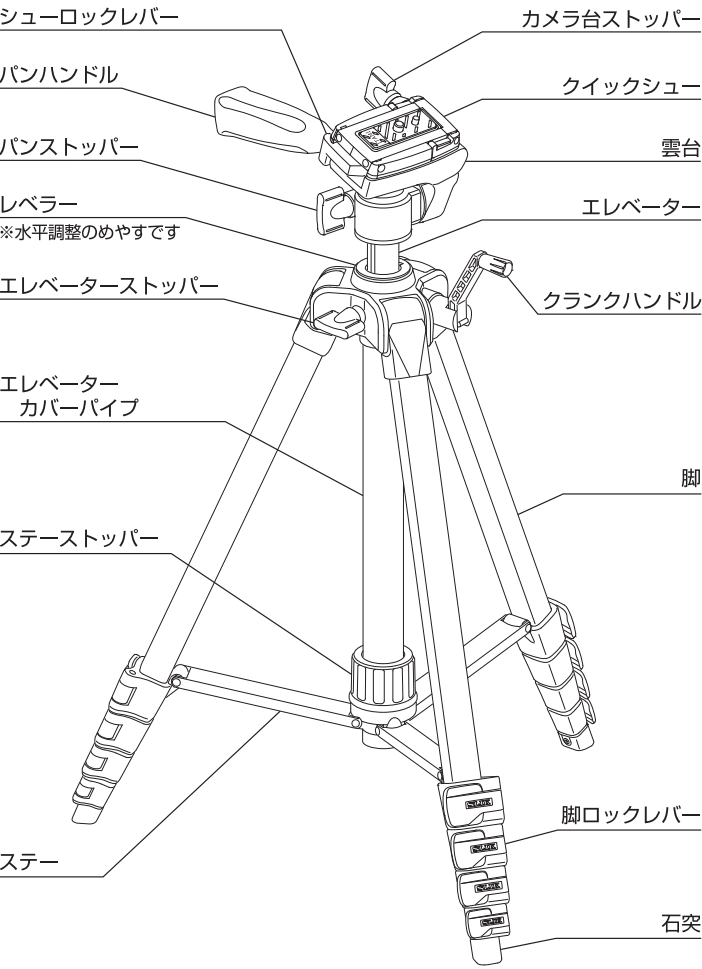
🚫 禁止 このマークは禁止（してはいけないこと）内容です。説明にしたがい事故のないようお使いください。

仕様

縮長	480 mm
全高	1,720 mm
EVスライド	235 mm
質量	1,320 g

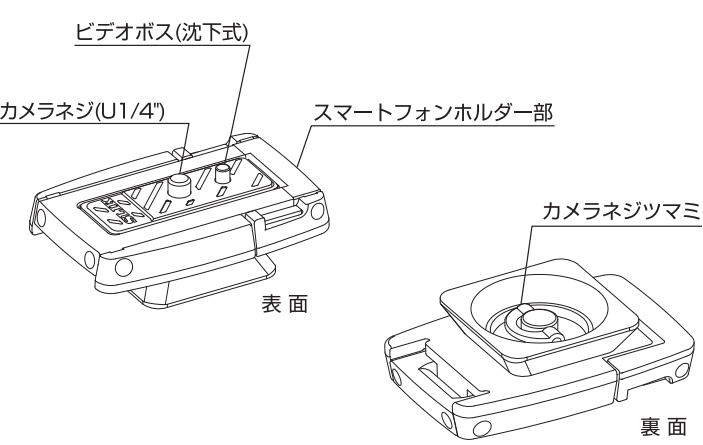
三脚ケース付

各部名称

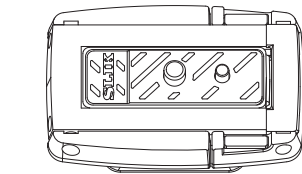


※三脚用のレベラーは水平調整のめやすです。カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。

クイックシュー

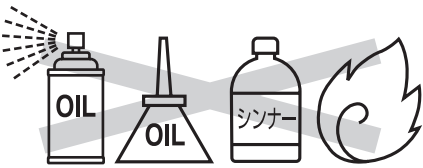


別売品



6509 DIN クイックシュー
(スマートフォンホルダー機能付き)

🚫 禁止



- 三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。破損、故障の原因となります。
- 可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。
- 火に近づけないようにしてください。
- 夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

お手入れ

- よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ <http://www.slik.co.jp/>

*改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。
©2022 SLIK CORPORATION

搭載する機材

🚫 禁止

最大搭載質量：1.5 kg

これ以上の機材は載せないでください。また、上記搭載質量以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。そのようなときは、上のクラスの三脚をお使いください。

使用可能なスマートフォンサイズ

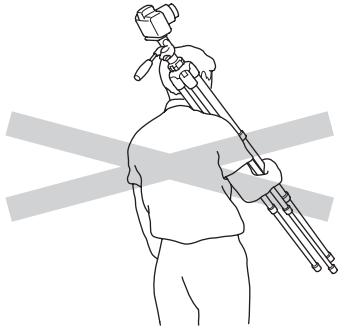
⚠ 注意

幅 ：58mm ～ 90mm
厚さ：12mm 以内

スマートフォンや外装ケースの形状によっては上記寸法内でも確実な取り付けができない場合があります。

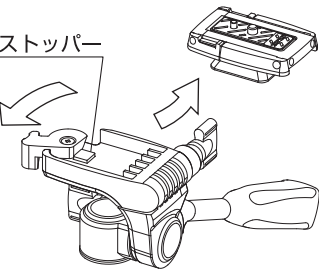
持ち運びのとき

⊘ 禁止

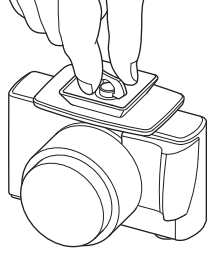


カメラは三脚から外して持ち運んでください。
カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、物損等を起こす可能性があります。

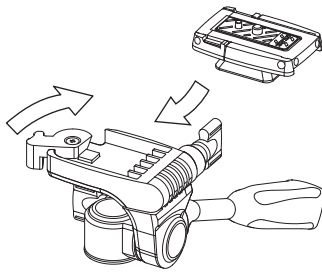
カメラの取り付け方



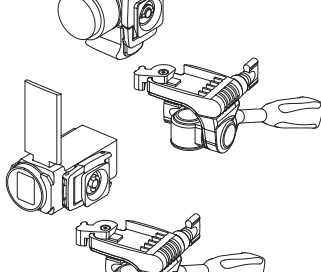
シューロックレバーを起こしながら
クイックシューを取り外します。
このときシューロックレバーは、
ストッパーにより起きた状態に
なっていますので、無理に戻さない
ように注意してください。



ビデオボスは沈下式のため、
ビデオカメラ・デジタルカメラどちら
にも使えます。
ビデオカメラの場合は、ボス穴と
ビデオボスを一致させて取り付け
てください。

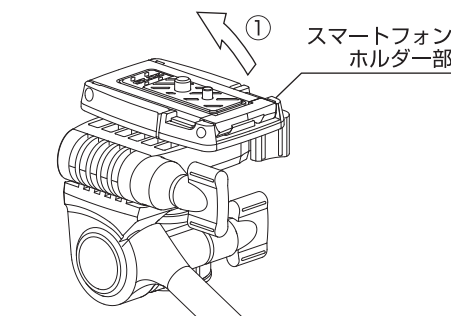


カメラの三脚取り付けネジと
クイックシューのカメラネジを
合わせてツマミをしっかりと
締め付け、雲台にシューを戻し、
シューロックレバーでしっかりと
締め込みます。

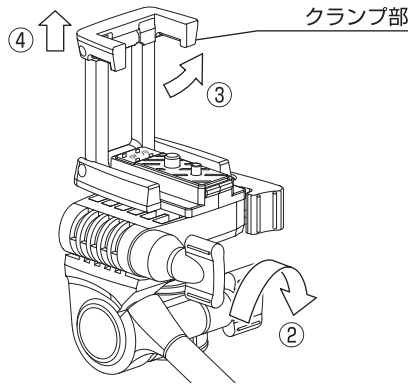


クイックシューは縦向き・横向き
どちらでも取り付けできます。
ビデオカメラの場合は縦向き、
デジタルカメラの場合は横向きで
取り付けると安定して撮影できます。

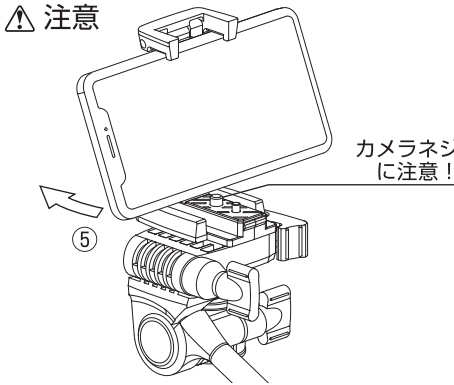
スマートフォンの取り付け方



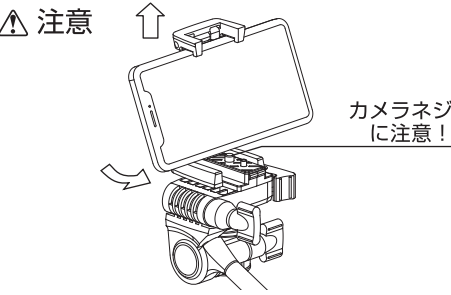
スマートフォンを取り付けるときは、クイック
シューを図のような向きで取り付けてください。
① クイックシューのスマートフォンホルダー部
を矢印の方向に起こします。



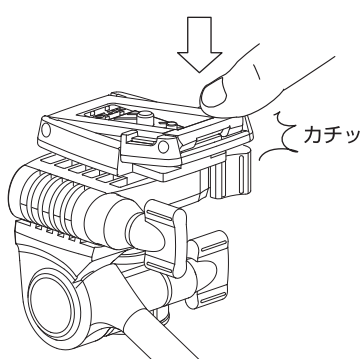
② カメラ台ストッパーを締め付けます。
③ クランプ部を矢印の方向に起こします。
④ クランプ部を真上に引き上げます。



⑤ クランプ部を引き上げながら、スマートフォン
を取り付けます。
注意：スマートフォンを取り付けるときに、
カメラネジに当たらないように注意してください。



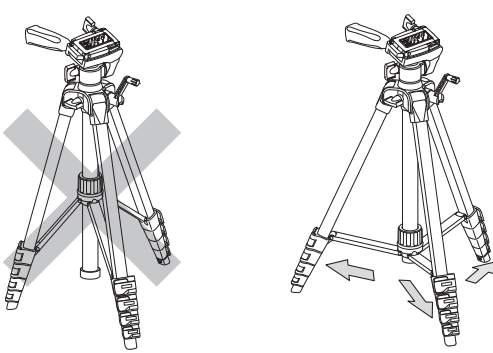
使用後は、クランプ部を引き上げながらスマート
フォンを取り外します。
注意：スマートフォンを取り外すときに、
カメラネジに当たらないように注意してください。
また、スマートフォンホルダー部に指をはさまない
ように気を付けてください。



スマートフォンホルダー部を収納するときは、
クランプ部をたたんでからスマートフォンホルダー
部をカチッと鳴るまで押し込んでください。

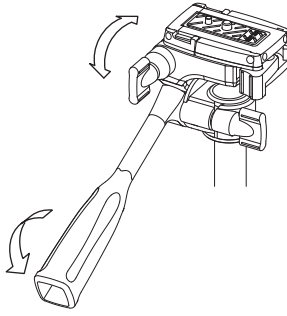
機材のセットアップ

⚠ 注意

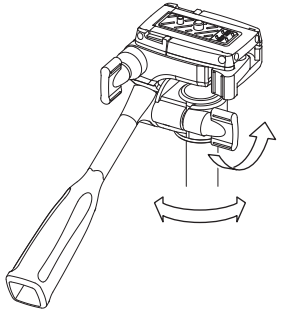


カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、
落下や転倒を防いでください。
また、3本の脚を十分に開いてください。脚の開きが不十分だと不安定でカメラ
ブレや転倒の原因になります。

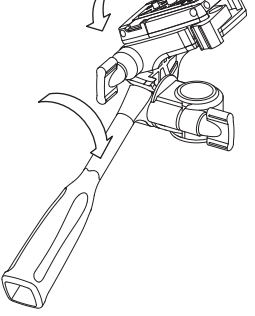
雲台の使い方



ビデオにもスチルにも使える3動作分離雲台です。
雲台の角度調整を行うときは、必ずハンドルや
ストッパーをゆるめてから操作してください。
パンハンドルをゆるめると、カメラを上向き・下向き
にティルトできます。

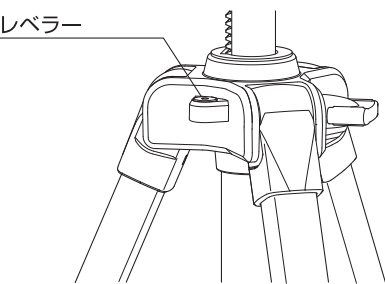


パンストッパーをゆるめると、カメラを左右方向に
パンできます。



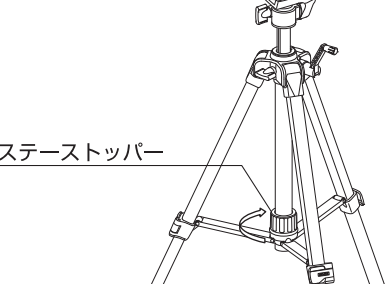
縦位置撮影は、カメラ台ストッパーをゆるめて、
カメラ台をたててください。

レベラー

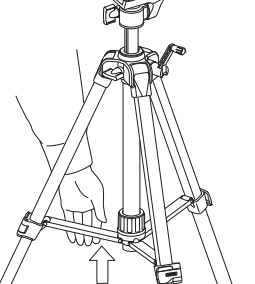


三脚の本体上部にあるレベラーを使用すると、
写真撮影時に三脚の水平調整のめやすとすることが
できます。
三脚用レベラーは水平調整のめやすです。
カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。

脚の開き方

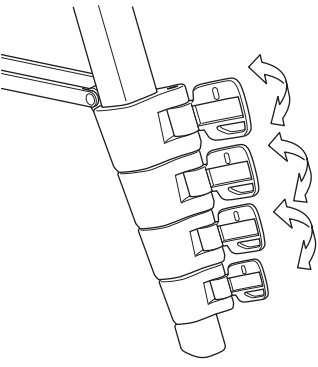


ステーがカバーパイプの下端に当たるまで一杯に
開いてください。
ステーストッパーを締めると、より安定します。



脚を閉じるときはステーストッパーをゆるめて、
ステーの下端に手を当て、少し上に持ちげると
閉じられます。

脚の伸縮



脚ロックレバーを開くとパイプは伸縮できます。
希望の位置でレバーをしっかりロックしてください。
太いパイプを優先してご使用になると、グラつきが少なくなります。



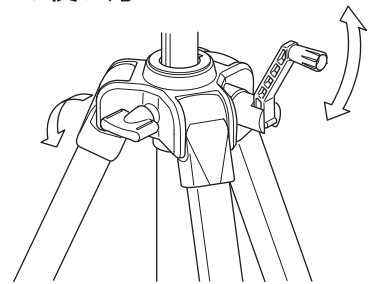
脚を閉じた状態で石突を下に向けて操作すると、扱いがらくです。

スマートフォン取り付け時の注意事項

⚠ 注意

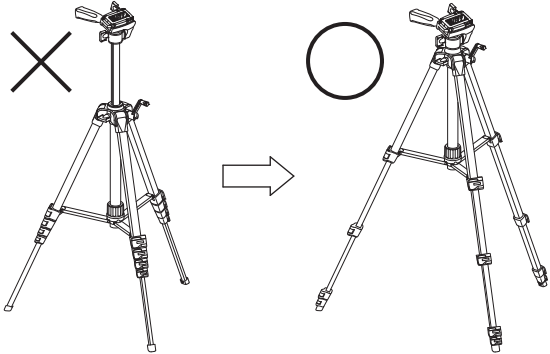
・スマートフォンや外装ケースの形状によっては
使用可能サイズ内でも確実な取り付けができない
場合があります。
使用前にご確認ください。
・スマートフォンを取り付けるときに、カメラネジ
に当たらないように注意してください。
また、指をはさまないように注意してください。
・スマートフォンホルダー部やクランプ部を過度な
力で引いたり奥側に倒すと、部品が破損する恐れ
があります。
過度な力を掛けないように注意してください。

エレベーターの使い方



エレベーターストッパーをゆるめてクランクハンドルを操作すると、
エレベーターを上下することができます。
クランクハンドルから手を離す前にエレベーターストッパーをしっかりロック
してください。

⚠ 注意



ブレ防止のため、エレベーターはなるべく短くしてご使用ください。
また、脚は太いパイプを優先してお使いください。